

経営比較分析表（平成30年度決算）

大分県 豊後大野市

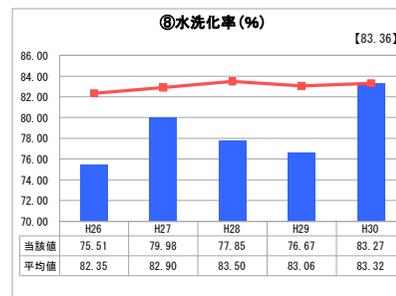
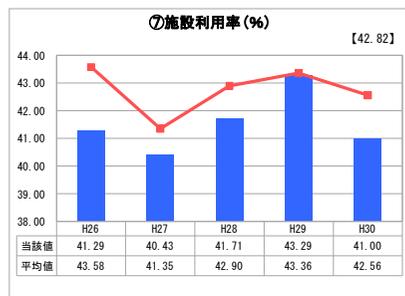
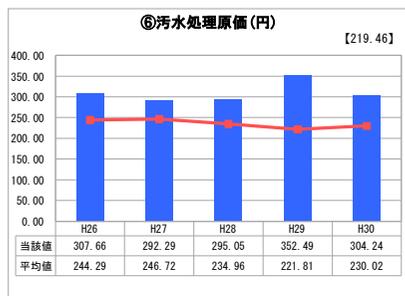
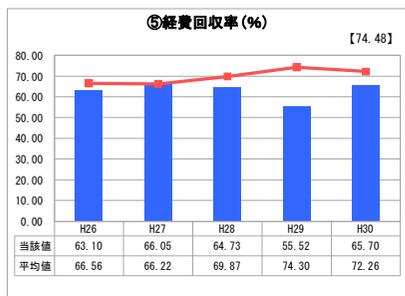
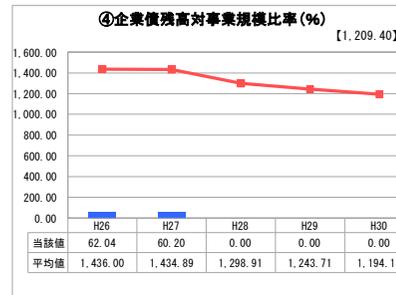
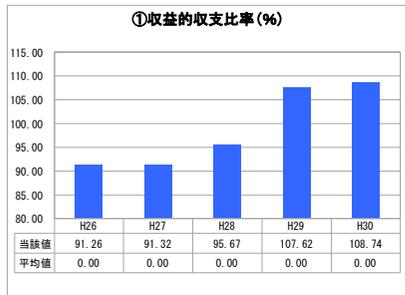
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	3.16	93.90	3,606

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
35,995	603.14	59.68
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,130	0.77	1,467.53

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

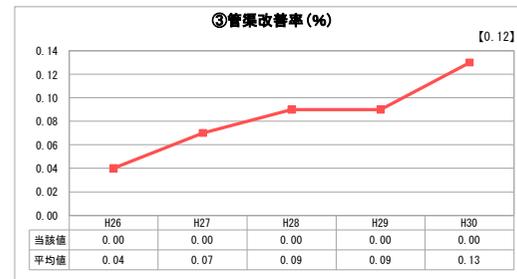
1. 経営の健全性・効率性について

- ①『収益的収支比率』・・・総費用に地方債償還金を加えた費用を総収益でどの程度賄われているかを示す指標。企業債償還の減少に伴い徐々に改善されていますが、繰入金に依存しており経費削減に努める必要があります。
- ②『累積欠損金比率』・・・該当数値なし
- ③『流動比率』・・・該当数値なし
- ④『企業債残高対事業規模比率』・・・料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。地方債償還のピークを越えたことから、類似団体と比較しても著しく低いことから、企業債残高に対する一般会計の負担すべき金額が比較的大きいことも窺えます。
- ⑤『経費回収率』・・・使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。全国平均・類似団体平均と近い数値ではあるが、必要な経費を料金収入で賄えていない。今後も接続率の向上対策に併せ、更なる費用削減に努める必要があります。
- ⑥『汚水処理原価』・・・有収水量1m³あたりについて、汚水処理に係るコストを表した指標。全国平均・類似団体平均を上回っており、今後も更なる費用削減に努めていく必要があります。
- ⑦『施設利用率』・・・処理能力に対する汚水処理量の割合で、施設の利用状況を判断する指標。全国平均・類似団体平均と近い数値であるが、今後も接続率の向上に努める必要があります。
- ⑧『水洗化率』・・・実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標。ほぼ類似団体と同じとなっていますが、更なる接続率の向上対策に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ③『管渠改善率』・・・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標。供用開始後18年経過しているが、管渠の更新は行っていない。今後も計画的に管路清掃を行い、維持管理に努めます。

2. 老朽化の状況



全体総括

平成16年に整備完了した比較的新しい施設ではある。水洗化率は、ほぼ類似団体平均であるものの区域内人口の減少などで効率的な経営ができていない。経営改善のためには、今後も引き続き未接続世帯への普及促進に努め、水洗化人口及び有収水量の増加を目指す必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。